

東洋医学を楽しく学ぼう ～Webで外に出かけよう～

健康プロデュース学部健康鍼灸学科
村上高康

2020年6月現在、緊急事態宣言は解除されましたが油断出来ない状況が続いています。授業もオンラインで行なわれ、これからの教育システムは**Web**に対する依存度が高まる事が予想されます。

東洋医学は古くから人々の健康維持に貢献しており、とても身近な存在です。コロナウイルスで外出できない時に手足のツボを押したり、薬膳やアロマセラピーで体調管理やリラックスさせるのにも東洋医学の理論は利用されることがあります。

今回、東洋医学を身近に知ってもらいたいと思い、博物館などの**HP**をいくつか皆さんにご紹介したいと思います。

ぜひ**HP**にアクセスして頂き、**Web**でのひとときの旅を楽しみつつ、東洋医学を学ぶきっかけになれば幸いです。

また、ウイルスが収束した時には、ぜひ足を運んでみてください。

①九州国立博物館（きゅうはく）

<https://www.kyuhaku.jp/>

九州国立博物館には「針聞書」という古典が収蔵されています。この本は昔病気の原因が腹の中の虫によるものだと考えられており、それらが描かれています。様々な展示物やアニメもありますので子供も楽しめます。



針聞書 室町時代 永禄11年(1568)九州国立博物館蔵

きゅーはく「はらのむし」ショートアニメ

<https://www.kyuhaku.jp/hara/>

人間がいなくなった夜の博物館にはらのむしが動き出す・・・



はらのむし体操もあるよ



②はいきゅうミュージアム

<https://www.morinomiya.ac.jp/harikyumuseum/#>

経絡図や灸箱などの資料が展示されています。

③鍼灸あん摩博物館

<https://sumida-3m.tokyo/3m/3m-2037/>

日本独自の刺鍼法である「管鍼法」を作った杉山和一をまつた「江島杉山神社」の境内にあり、歴史的な資料を見ることができる。

④内藤記念くすりの博物館

<http://www.eisai.co.jp/museum/index.html>

漢方薬の展示や鍼灸のイベントなども行われたことがある。

館内ガイドにある収蔵品デジタルアーカイブでは養生訓や解体新書のような有名書物を見ることができるだけでなく、針口伝書や黄帝蝦蟇経という風変わりな資料を見ることができる。

⑤国立国会図書館

<https://www.ndl.go.jp/>

読みたいキーワードを検索して、インターネット公開でさらに条件を設定すれば様々な古典資料を目にすることが出来る。

昔使っていた鍼灸の教科書を見ることが出来る。